

brother

sincere

シンシア

●アフターサービスについて

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください)
それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店
にご相談ください。
- 当社は、このミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の〈お
客様相談コーナー〉へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

北海道事業所	〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL:(011)261-6631
東北事業所	〒980 仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022)227-8877
関越事業所	〒330 大宮市仲町1-124-2	TEL:(048)648-3121
東京事業所	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	TEL:(03)3281-4204
中部事業所	〒467 名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL:(052)824-3193
関西事業所	〒542 大阪市中央区心斎橋筋1-2-19	TEL:(06) 252-1797
中国事業所	〒730 広島市中区胡町4-28	TEL:(082)240-3762
四国事業所	〒760 高松市寿町1-1-5	TEL:(0878)51-7342
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	TEL:(092)431-3894
沖縄事業所	〒900 那覇市泊3-1-2	TEL:(098)868-4511

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店ま
たは上記の〈お客様相談コーナー〉へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

取扱店

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467
TEL (052)824-2511(代表)

112-120
191120-002
9206 I

取扱説明書

Z Z3-B120

もくじ

お買い上げまことにありがとうございます。
この製品の素晴らしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この《取扱説明書》を最後までよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保存してください。

ミシンのセット	1
下糸の準備	2~3
上糸のかけ方	4~5
下糸の引き出し方	5
ぬってみましょう	6~7
糸調子	8
押えの取り替え方	9
まつりぬいのぬい方	10~11
ボタン穴かがりのぬい方	12~13
別売り部品	14~15
片押えの使い方	14
裁ち目かがり押えの使い方	15
まつりぬい押えの使い方	15
針の交換	16
布地と糸と針の選択早見表	16
お手入れ	17
各部の名称とはたらき	18~19
トラブルチェック	20
ぬい方早見表	21

ミシンの セット

●ミシンを操作する前に。

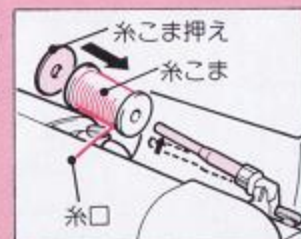
3 糸こまカバーを開け、プーリーを出します。

※糸こまカバーを開くと、自動的にプーリーが出ます。
※収納するときは、糸こまカバーを閉じ(①)、プーリーを押し込みます(②)。

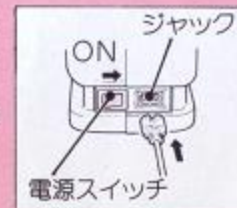


4 糸立て棒を少し起こして、糸こまをセットします。

※糸口が糸こまの手前から出るようにセットします。



2 電源を入れます。



(50/60Hz)
100V

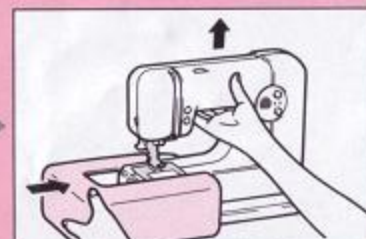
1 補助テーブルをセットします。

※カバーを補助テーブルとして使います。

●フリーアーム



①カバーを左へスライドさせて、はずします。



②ミシンを少し持ち上げ、カバーの切り込み部分を上にし、ミシンのみぞにそってはめ込みます。

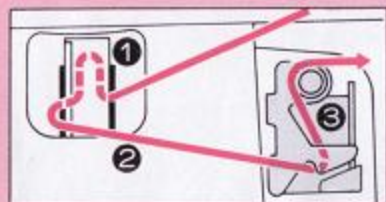


カバーをセットしなければ、フリーアームとして使えます。

下糸の準備

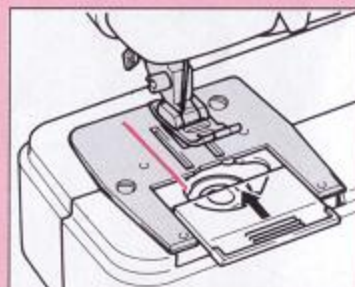
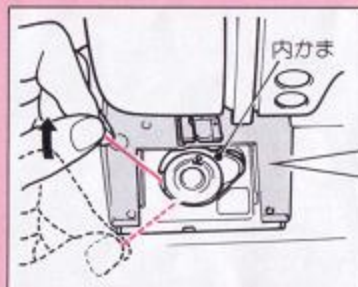
●下糸を巻いて、ボビンをセットします。

1 下糸巻き案内に確実に糸を通します。



5 スタート。
巻き終わるとボビンの回転は止まります。
ストップしてください。

6 ボビンをセットします。



①すべり板を開き、糸端を10cmほど出し、糸端を左側にしておいてボビンを入れます。
②糸を手前の切りみぞへ通し、調子ばねにすべり込ませてから、左側の切りみぞに通します。

③すべり板を閉じます。

4 糸端を持ち、

※少し巻いたら、ミシンを止めて糸端を切り、再びスタートします。



2 ボビンをセットし、右へスライドさせます。

※巻き終わったら、左へもどします。



糸巻き軸ばねと切りかけを合わせます。

3 速度切換スイッチで
“高速”(▶▶)にします。

ご注意

必ず専用ボビンをお使いください。



部品コード
136492101

上糸のかけ方

●番号と矢印に従って糸をかけます。

3 上糸かけに糸をしっかりとかけます。



1 押えを上げます。

4 順序よく糸をかけます。

5 押えを下げます。

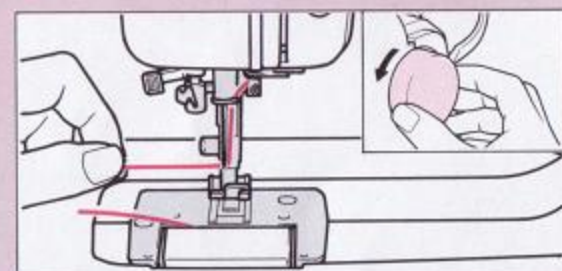
2 プーリーを回して、針を一番高い位置に上げます。

ご注意

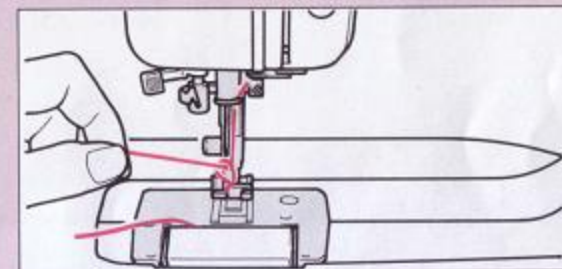
針	糸
9番	30番 50番 60番
11番	30番 50番
14番	30番
16番	20番

糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは上記のとおりです。なお、ナイロン透明糸は上記に関係なく、ミシン針14～16番の範囲内でご使用ください。

上糸を通したら… 下糸の引き出し方



①上糸を持ち、プーリーを手前に1回転させます。

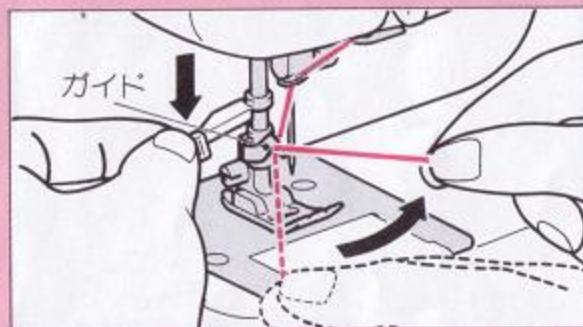


②上糸を引っ張り、下糸を引き出します。

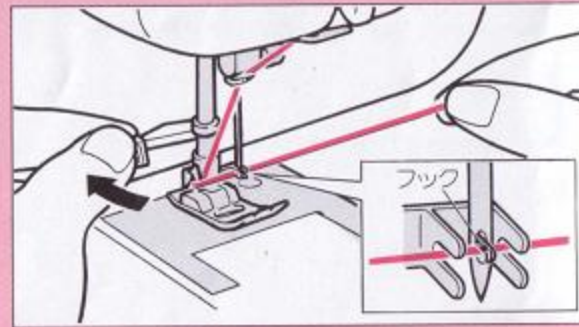


③糸を15cmほど出しておきます。

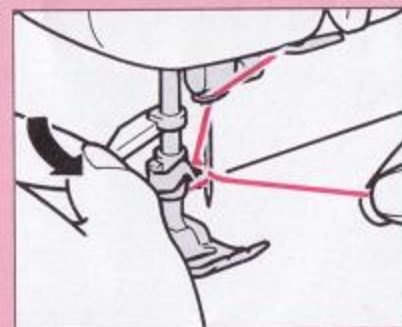
6 糸通し装置で針に糸を通します。



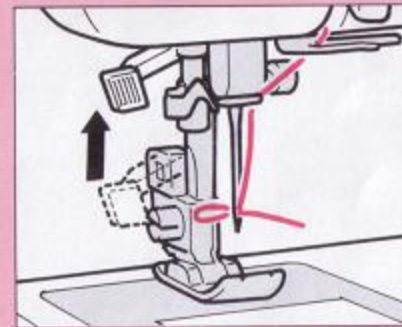
①糸通しレバーをつまんで、止まるまで下げます。ガイドに糸をかけ、右へ持っていきます。



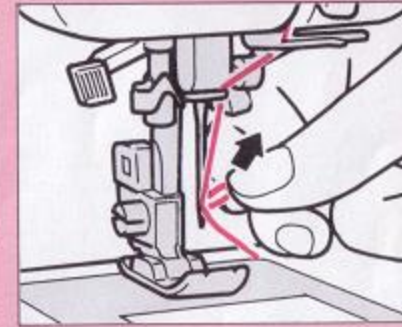
②糸通しレバーをうしろへ回して針穴にフックを入れたあと、糸をフックにかけます。
※糸を手前に引き、フックにかかっているか確認します。



③糸を軽く持ったまま、糸通しレバーを手前にもどします。



④糸と糸通しレバーを離します。



⑤上糸をうしろへ引き出します。

ぬってみましょう

●布地を入れてぬってみましょう。

4 スタート
します。

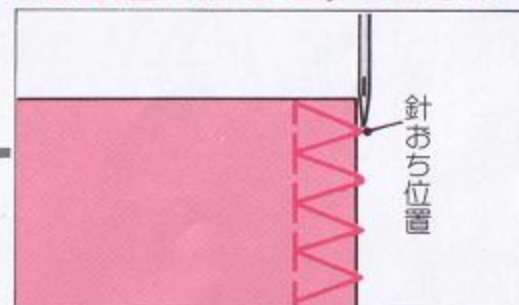
3 押えを
下げます。

2 布地をセットします。
※返しぬいをするときは、
布地を3～4針分奥へ入れ
てセットします。

1 模様番号を指定
します。

※電源スイッチを入れると、
1と表示されます。

●裁ち目かがりをするときは



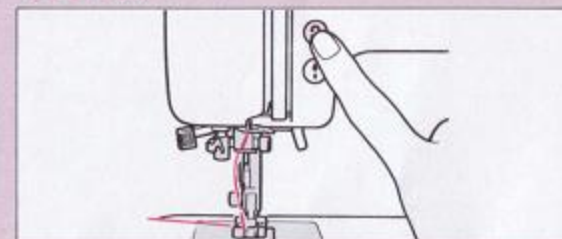
布地は、針が布端より少し外側におちる
ようにセットします。

速度切換スイッチ



ぬっている途中でも速度を切り換えることが
できます。

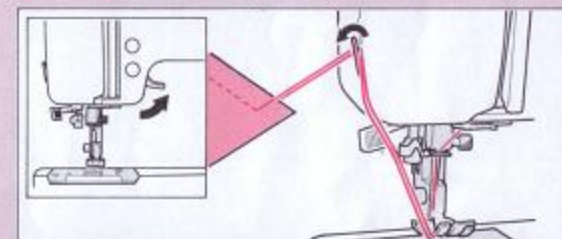
返しぬい



返しぬいスイッチは、押している間返しぬい
をします。

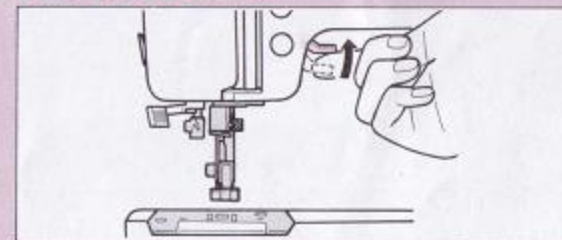
※ぬい始めは、布地を3～4針分ほど奥へ入れます。

糸切り



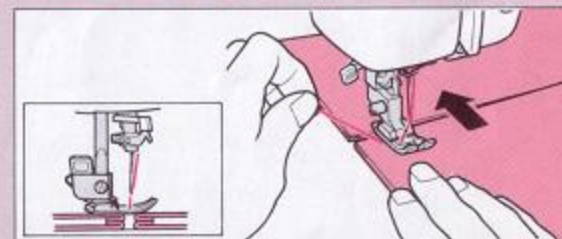
ぬい終わったら押えを上げ、糸を切ります。

厚物をぬうとき



さらにもう一段上げます。

布地が厚くてぬい出しが悪い場合



同じ厚さの布地を置き、上糸と下糸を少し引
つ張って布地を押し出すようにぬい始めます。

※デニム(13オンス)は、8枚まで重ねてぬえます。

糸調子

- 布地や糸の種類によって、糸調子を合わせます。

上糸調子ダイヤル

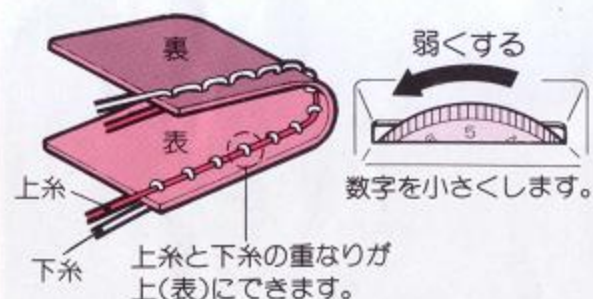
弱くなる ← → 強くなる



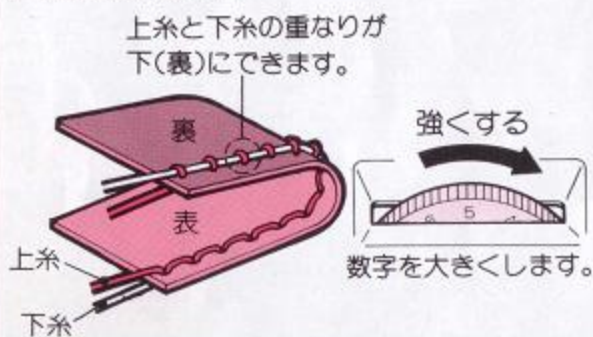
(調節範囲 0~9)

糸調子が合わないときは

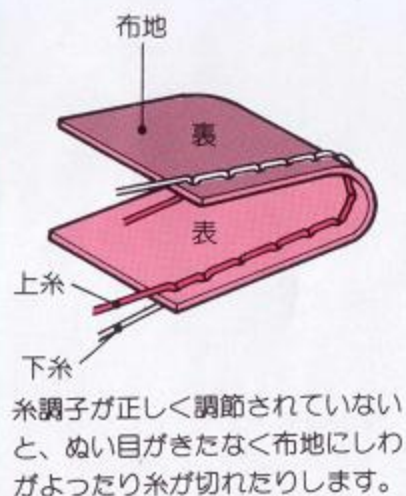
上糸が強い場合



上糸が弱い場合



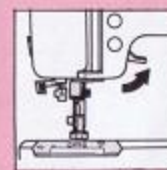
正しい糸調子



押えの取り替え方

- ボタン穴かがり押えと、別売り部品の裁ち目かがり押え、まつりぬい押えがこの方法で取り替えられます。

1 押えを上げます。



2 ボタンを押し、押えをはずします。

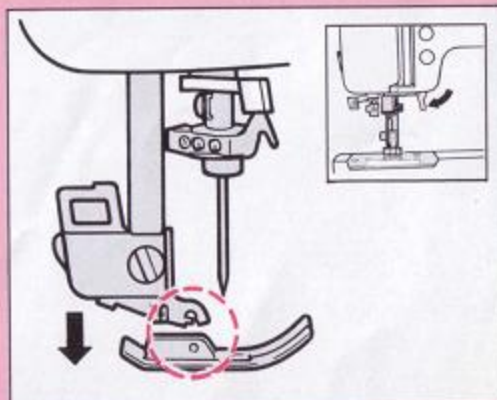
①

押えホルダー

②

ピン

3 ピンが押えホルダーの真下にくるように、押えを置きます。押えレバーを下げて、押えを取り付けます。



まつりぬい のぬい方

●スカート、ズボンなどのすそ上げに使用します。

5 スタート。

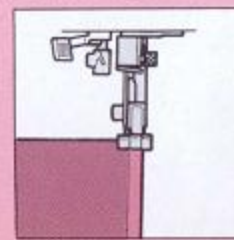
3 針を、折り山にわずかにかかるようにおとします。

※針が左にあることを確認してください。

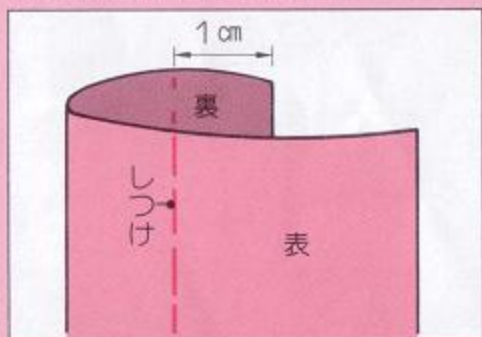
1 模様番号 **7** を指定します。

※模様選択スイッチを押すと、表示窓の模様番号が変わります。

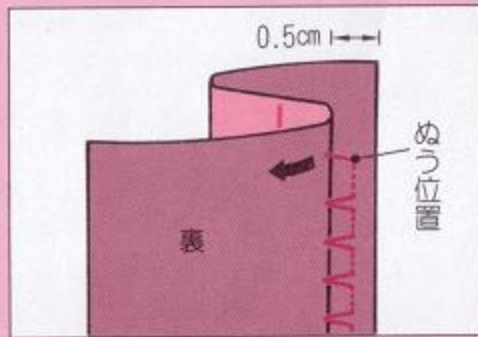
4 押えを布地の折り山に合わせて、下げます。



2 布地を折ります。

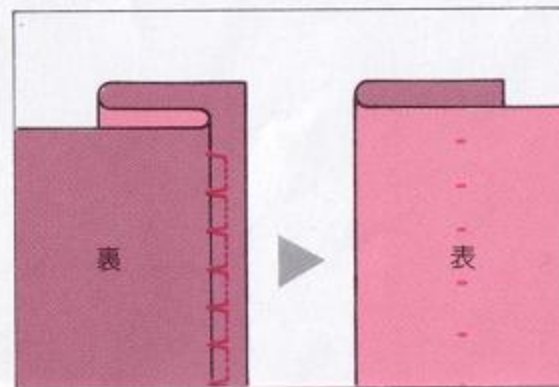


①しつけをします。



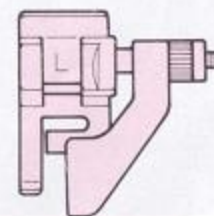
②折り返します。

●ぬい終わったら
表に戻します。



ワンポイント
アドバイス

別売り部品のまつりぬい押えが
使用できます。(15ページ参照)



部品コード
129868001

ボタン穴かがりのぬい方

●模様番号 **L** **7** は薄地・普通地に、
L **7** は厚地・のびる布地に使います。

5 上糸を持ってスタート。

布地のしるしまでぬったら、ストップさせます。



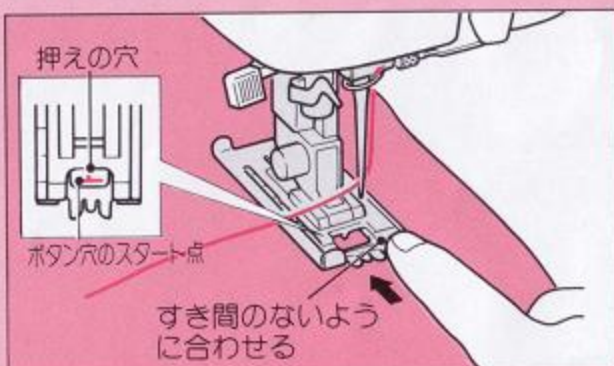
7 スタート。

ぬい始めの位置までぬったら、**A**の位置でストップさせます。



1 ボタン穴かがり押えにします。

3 布地をセットします。



押えの穴にボタン穴のスタート点を合わせます。

8 止めぬいをします。

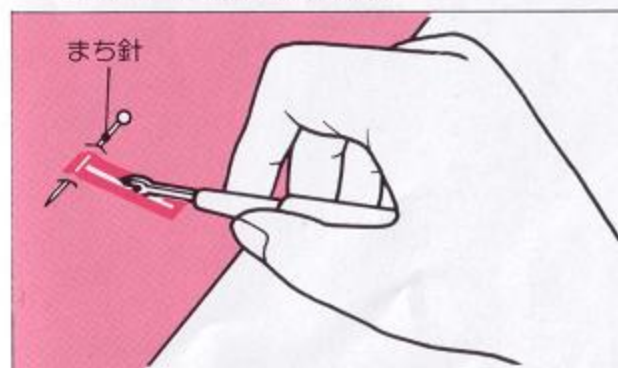
4 押えを下げます。

2 模様番号 **L** または **L** を指定します。

※ **L** は薄地・普通地用
L は厚地・のびる布地用

6 前の模様番号に合わせて **7**、または **7** を指定します。

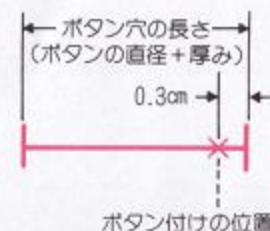
●ぬい終わったら
リッパーで切り開きます。



※ぬい糸を切らないように注意してください。

ぬう前に…
ボタン位置にしるしを付けます。

●横のボタン穴かがり



丈夫なので、ほとんどの服に使われます。
ボタン付けの位置より 0.3 cm 外側からしるしを付けてください。

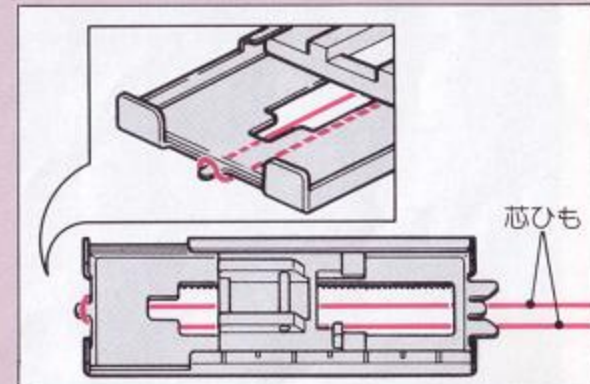
●たてのボタン穴かがり



シャツなどの細い前立てや、小さなボタンをたくさん並べて付ける場合によく使われます。
ボタン付けの位置より 0.3 cm 上側からしるしを付けてください。

ワンポイント
アドバイス

●のびる布地の場合



のびる布地にボタン穴かがりをするときは、ボタン穴かがり芯ひもを入れてください。

別売り部品

- 片押え(部品コード103561002)
- 裁ち目かがり押え(部品コードX51162001)
- まつりぬい押え(部品コード129868001)

片押えの使い方

2 模様番号 **0** または **1** を指定します。

1 片押えにします。



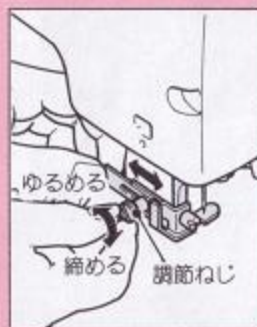
①はずします。



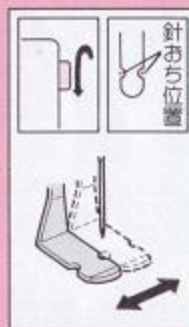
②付け替えます。
※押えホルダーを付けるときは、押えを下げて取り付けてください。

3 針おち位置を確認します。

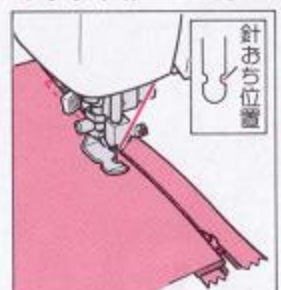
●針おち位置の左右を使い分けるには



※プーリーをゆっくり回して針先で確認します。



●ファスナーを付ける場合



①ファスナーの下になる方を先にぬいます。



②押えの位置を変え、ファスナーの上になる方をぬいます。

裁ち目かがり押えの使い方

2 模様番号 **2~4** を指定します。

5 押えを下げ、スタート。

1 裁ち目かがり押えにします。

3 布端をガイドに合わせます。



4 針おち位置を確認します。

針は布端より少し外側におとします。
※押えのツメにあたらないように注意します。

まつりぬい押えの使い方

2 模様番号 **7** を指定します。

5 押えを下げ、スタート。

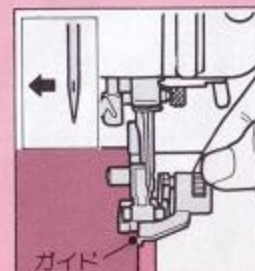
1 まつりぬい押えにします。

3 布地をセットします。

※布地を折り、折り山に針がかかるようにします。(10~11ページ参照)

4 ねじを回して、ガイドを折り山に合わせます。

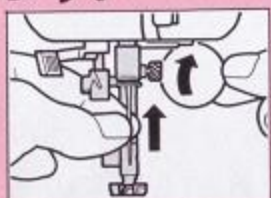
※針が左にあることを確認してください。



針の交換

●必ず電源スイッチを切ってから交換してください。

4 針を取り付けます。



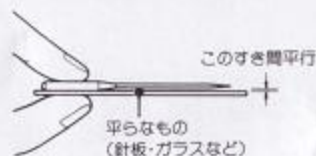
※針の平らな面をうしろにして奥までしっかり差し込みねじを締めます。

2 コインまたはドライバーでねじをゆるめます。

1 押えを下げます。

3 針を抜きます。

ワンポイントアドバイス 正しい針の調べ方
平らな面を下にして



布地と糸と針の選択早見表

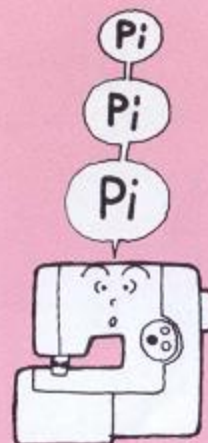
布地の種類	普通地			薄地			厚地			のびる布地		ほつれやすい布地		
	ブロード	タフタ	フラノ ギャバジン	ローン	ジョーゼット	ポーラ	テニム	コーデュロイ	ツイード	ジャージ	トリコット			
種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	ニット用糸		カタン糸	合繊糸	絹糸
太さ	60~80	60~80	50~80	60~80	60~80	50~80	40~50	50	50			50~80	50~80	50~80
針の太さ	11~14			9~11			14~16			ゴールド針 11~14		9~14		

※ゴールド針は伸縮性のある布地や、目とびしやすい布地に効果があります。

お手入れ

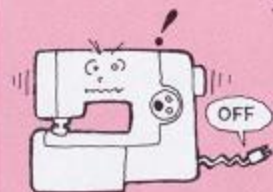
●こんなことも知っておきましょう。

●ブザーの警告について



糸がらみなどでミシンがロックした場合。
・ミシンは自動的に止まります。
・ブザー警告が終わると、運転可能状態にもどります。
・ロックした原因を直さないでスタート・ストップスイッチを押さないでください。
・糸がらみなどでロックした原因を直すときは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

●停電について



運転中に停電が発生した場合。
・電源プラグを抜いてください。
・再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

●スイッチについて



一つのスイッチを押しながら、他のスイッチ操作はできません。

●注油について



注油はする必要がありません。

●そうじ



すべり板の内部に、ほこりや糸くずがたまらないようにしてください。
ピンセットや掃除機を使うと便利です。

●いつもきれいに



かるいよこれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよこれは中性洗剤を溶かした湯または水に浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふきとってください。

●ミシンの大敵



ストーブやアイロンは近づけないでください。
ベンジー・シンナーなどは絶対に使わないでください。
保管するときは、直射日光が当たる場所や湿気の多い場所をさけてください。

各部の名称と はたらき

返しぬいスイッチ

スタート／ストップスイッチ

●スタート／ストップスイッチ
スイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。
※速度切換スイッチが高速にセットされているときは、スイッチを押している間、低速でぬいます。

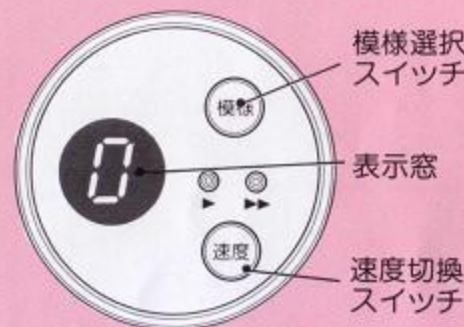
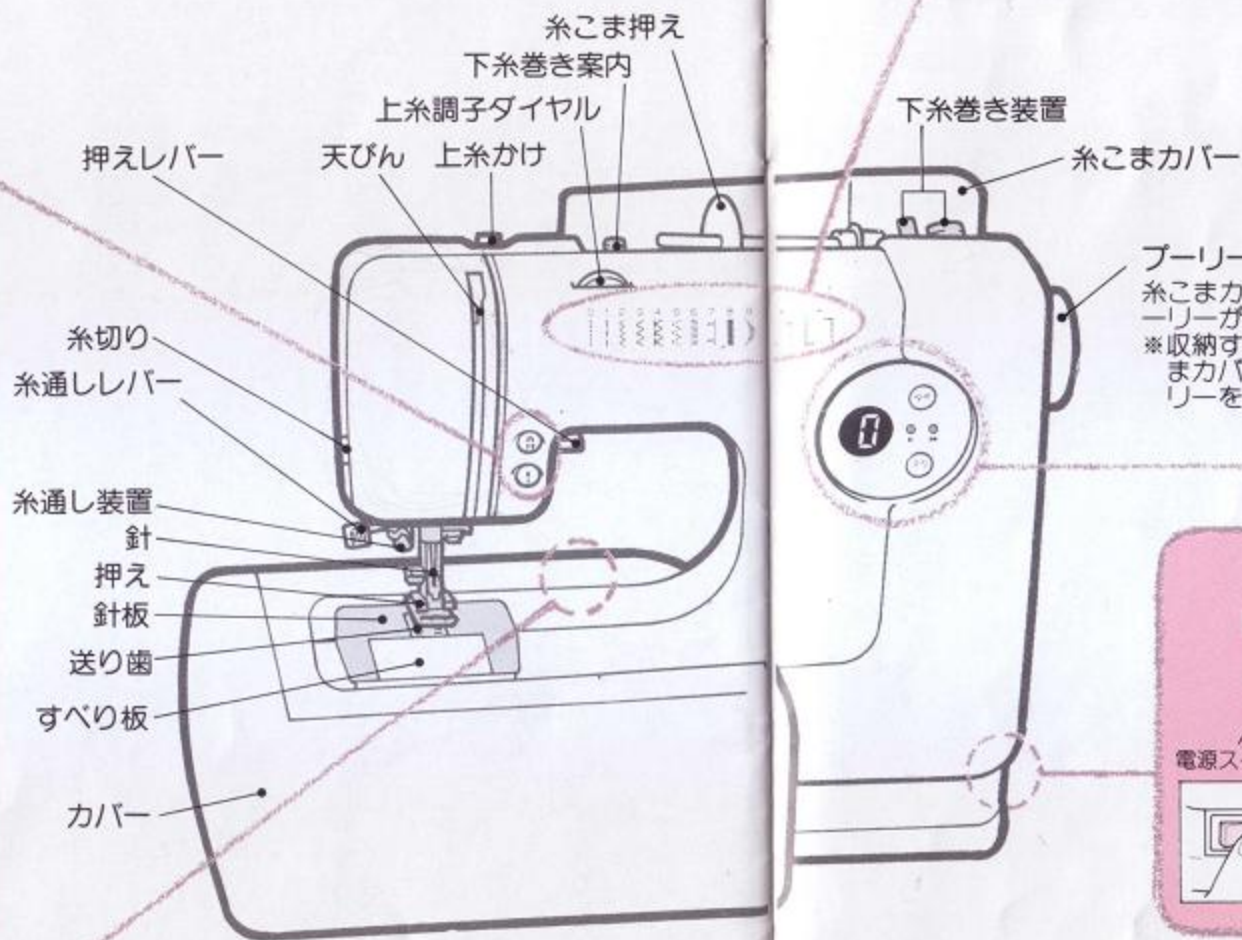
●返しぬいスイッチ
スイッチを押している間、返しぬい(止めぬい)を低速で行います。
返しぬい…逆方向にぬいます。
(模様番号0～3の場合)

止めぬい…その場で3針ぬって自動停止します。
(模様番号0～3以外の場合)

●補助スタンド



フリーアームとして使うときは、補助スタンドを出します。



●表示窓
模様選択スイッチで指定した模様番号を表示します。

●模様選択スイッチ
ぬいたい模様番号を指定します。

●速度切換スイッチ
低速(▶180回転)と高速(▶▶360回転)の切り換えをします。



付属品



●長い糸こまを使うときは



①スパーサーをはずします。
②糸こまと糸こま押えをセットします。
※太い糸こまを使うときは、糸こま押え(大)を使ってください。

別売り部品



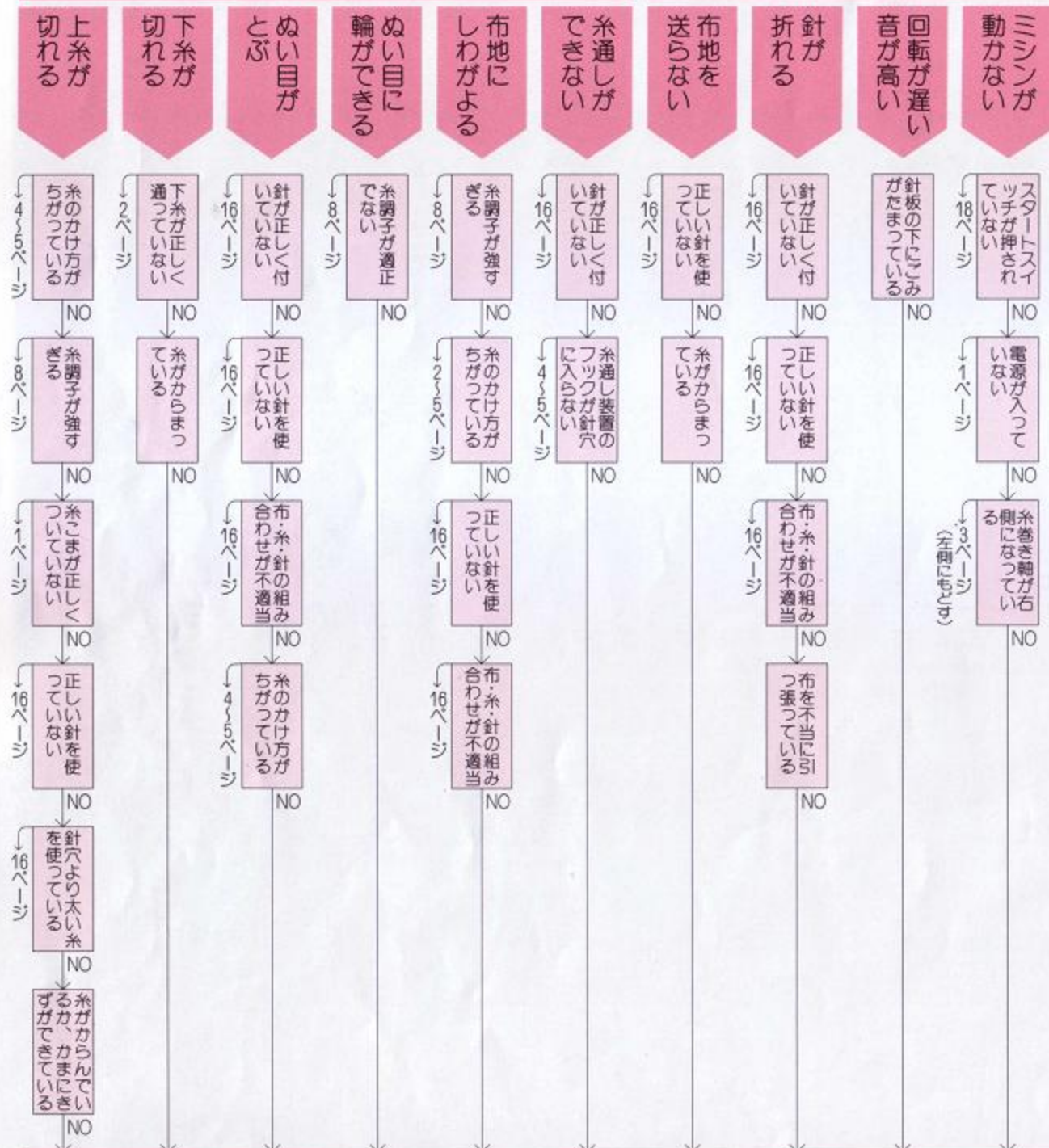
トラブル チェック

●簡単なミシンの調整

ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。

糸とぬい目のトラブル

機械のトラブル



●もし、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。

ぬい方早見表

模様の種類	直 線		ジグザグ		裁ち目かがり		三重ぬい	まつりぬい	ジグザグサテン	スカラップ	ボタン穴かがり			
模様番号 (表示)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	L	7	L	7
選択模様														
押え記号														
主な用途	その他 ステッチ 地ぬい	その他	裁ち目かがり アップリケ パッチワーク	裁ち目かがり	裁ち目かがり (のびる布地)	地ぬい (ぬい目をしよう) (ぶにしたいとき)	まつりぬい	サテンステッチ アップリケ	スカラップステッチ	ボタン穴かがり (普通地・薄地)	ボタン穴かがり (厚地)			
返しぬい スイッチ	返	返	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止

返…返しぬいスイッチを押している間、返しぬいができます。 止…返しぬいスイッチを押すと、3針ぬって止まります。

※押えはこのほか専用押え(別売り)が使用できます。

(裁ち目かがり(模様番号2~4)には、裁ち目かがり押え(部品コードX51162001)が使用できます。
まつりぬい(模様番号7)には、まつりぬい押え(部品コード129868001)が使用できます。
直線ぬい(模様番号0または1)には、片押え(部品コード103561002)が使用できます。)

返…返しぬいスイッチを押している間、返しぬいができます。 止…返しぬいスイッチを押すと、3針ぬって止まります。

※押えはこのほか専用押え(別売り)が使用できます。

(裁ち目かがり(模様番号2~4)には、裁ち目かがり押え(部品コードX51162001)が使用できます。
まつりぬい(模様番号7)には、まつりぬい押え(部品コード129868001)が使用できます。
直線ぬい(模様番号0または1)には、片押え(部品コード103561002)が使用できます。